

No.	区分	意見	市の考え方	修正の有無
1	人口	<p>&lt; 地区別の傾向 &gt;                      ここでは地区別の人口増減の傾向が述べられているが、地域包括支援センター担当地域別の人口動態の予測・考察が必要ではないか。総合戦略に示される基本目標の積極的な達成には市全体の人口動態の予測・考察だけではなく各世代・各階層に十分目配りをしたきめ細かい市民生活の向上を図る施策が必要である。そのためには市内6か所の地域包括支援センターが、単に高齢者・医療・介護支援ではなく、かつての「国際高齢者年」の理念が「すべての世代のための社会をめざして」であったように、子育て支援、雇用・就労・家庭支援を含めた新たな地縁組織形成の役割が大きくなっていくと思われる。</p>	<p>ご意見のとおり、地区別の人口動向分析だけでなく、今後は地域によって実情が異なることや一定の生活圏単位での施策実施の検討も必要となることから、小学校区や中学校区、地域包括支援センターなど生活圏単位をベースとした分析は必要であると考えております。したがって、計画期間中に毎年度実施する進捗管理のなかで、施策の効果検証をする際には、分析手法も含め検討してまいりたいと考えております。</p> <p><b>【人口ビジョン 2人口動向分析 (2)人口増減の要因 社会増減 ウ地区別の傾向】</b></p>	無
2	人口	<p>&lt; 財政状況への影響 &gt;                      この項4行目後半「介護や医療が…」の表現について、ここでは財政への影響についての項目であることから、このような持って回った表現ではなく、「介護や医療の特別会計への過度な依存に頼ることのない環境づくり…」など文章表現の工夫が必要ではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、文言を修正いたします。</p> <p><b>【宇治市人口ビジョン 3将来人口推計 (2)人口の変化が地域の将来に与える影響の分析 財政状況への影響】</b></p>	有
3	(1)	<p>&lt; 源氏物語のまちづくり等事業 &gt;                      成果を挙げている事業であるが、これにとどまらず、宇治に関わるいくつかの歴史・文学についても事業化することが考えられないか。例えば、源氏物語が平安貴族階級に偏しているのに対し、「宇治拾遺物語」は「今昔物語」と並ぶ中世の各階層に渡る幅広い民俗・生活を描いた貴重な文献である。また「菟道稚郎子」に掛かる伝承もまた貴重な遺産であり、他地方には無い遺産として宇治ブランドの形成に資するものではないか。</p>	<p>本市は源氏物語宇治十帖の舞台となったまちであり、これまでから源氏物語のまちづくりを進め、一定の効果を挙げていると認識しております。一方で、源氏物語だけでなく、本市には他都市にはない魅力的な資源があることから、「魅力発信プラットフォーム運営等事業」や「宇治の魅力の深化事業」のなかで、魅力の発掘・創造・発信、さらに文化や歴史など魅力的な資源の有機的な連携により、いただいたご提案を踏まえ、新たな宇治ブランドの創出に取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p><b>【(1)「確固たる宇治ブランドの確立」～宇治市に新しい人の流れをつくる～ 具体的な施策 魅力発信プラットフォーム運営等事業・源氏物語のまちづくり等事業・宇治の魅力の深化事業】</b></p>	無
4	(1)	<p>人口減少に歯止めをかけるためには、近隣市から宇治市に移住してもらう必要がある。そのためには、景観・防災・防犯・交通・自然との共生など魅力あるまちづくりを進め、ホームページなどを活用し、これらの魅力を近隣市を含めた市外や市民に発信する必要がある。</p>	<p>人口減少に歯止めをかけるためには、本市の魅力を発掘・創造するとともに、市内外に積極的に発信する必要がありますことから、ご提案いただいた手法も含め、具体的な発信手法を検討してまいりたいと考えておりますので、ご意見を踏まえ、追記いたします。</p> <p><b>【(1)「確固たる宇治ブランドの確立」～宇治市に新しい人の流れをつくる～ 具体的な施策 魅力発信プラットフォーム運営等事業】</b></p>	有
5	(1)	<p>&lt; 宇治Wi-Fiの提案と災害時の避難指示 &gt;                      市民や観光客向けの無料Wi-Fiを設置してはどうか。技術的、コスト的な課題はあるが、そのネットワークを使い災害時の避難情報やタイムリーな観光案内などの情報を流せばインフラとしての無駄はないと考える。また、無料Wi-Fiは 家庭の通信費の節約になるため、学生や若い世帯が転居する候補として宇治市を選びやすくなる。さらに避難指示については、危険箇所や避難場所への案内を地図などを活用すれば、より効果的である。FM宇治での災害情報の提供は、電波が弱いためか、宇治市全域で受信できないため、電波範囲の補強が必要であるとする。</p>	<p>無料Wi-Fiの設置については、観光客向けに観光センターや商店街等に設置し、外国人観光客をはじめとした観光客の利便性向上に向けて取り組んでおります。本市全体の無料Wi-Fiの設置については、コスト的に難しいと考えております。避難情報の発信については、「宇治市地域防災計画」に基づき、取り組んでおり、必要な情報を正確かつ的確に伝える必要がありますことから、いただいたご意見も踏まえ、検討してまいりたいと考えております。</p> <p><b>【(1)「確固たる宇治ブランドの確立」～宇治市に新しい人の流れをつくる～ 具体的な施策 観光振興事業】</b></p>	無
6	(2)	<p>高齢者の方々の協力のもと、現在、使用していない市有地や私有地に花などを植えるなど、自然と共有するまちづくりを進める。</p>	<p>ご意見のとおり、自然と共有するまちづくりは魅力的なまちづくりの一つとして、重要であると認識しておりますことから、ボランティア団体等により市有地に花や木を植えて花だん化する「まちかどふれあい花だん推進事業」などに引き続き取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p><b>【(2)「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」～宇治への愛着から定住促進につなげる～ 具体的な施策 市民参画・協働によるふるさと宇治創生事業】</b></p>	無

No.	区分	意見	市の考え方	修正の有無
7	(2)	高齢者が自分の家から出て楽しく、かつ地域貢献できる、生きがいを感じられるまちづくりが必要である。	ご意見のとおり、高齢者が生きがいをもって活動されることはまちの活力になると考えております。高齢者に対する生涯学習の充実や地域貢献につながる仕組みを構築し、誰もが生き生きと暮らせるまちづくりを推進していきたいと考えております。  【(2)「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」～宇治への愛着から定住促進につなげる～ 具体的な施策 誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業】	無
8	(2)	グラウンドゴルフ場はいい施設であるが、遠隔・山間地にあり、高齢者がその地を訪ねることは容易ではない。近年グラウンドゴルフは急速に普及し、多くの単位喜老会で毎週・毎月と行われ健康増進が進んでいるが、幼児の遊びを損なわないよう注意して児童公園を使うなど、適切な場所の確保が困難である。	高齢者の生きがい創出・健康増進のために、市街地において新たにグラウンドゴルフができる場所を確保することは困難でございますが、時代に応じて市民ニーズは変化しておりますことから、児童公園など既存施設の活用などの観点で検討してまいりたいと考えております。  【(2)「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」～宇治への愛着から定住促進につなげる～ 具体的な施策 誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業】	無
9	(3)	宇治市は丘陵地のため水害とは切り離せない土地であるため、過去の水害対策結果と今後の水害対策案を伝えることやハザードマップの周知など、防災の取組を進める。	平成24年8月13日・14日京都府南部地域豪風災害を風化させない取組とともに、ハザードマップの周知にも努めてまいりたいと考えております。	無
10	(3)	公民館やコミセン、集会所を活用し、市民のコミュニケーションから地域コミュニティの活性化を図り、防犯に強いまちづくりを進める。	公共施設は、コミュニティ活動の場として重要な役割を担うと認識しており、市民のご意見も伺いながら公共施設のあり方について検討するとともに、市民主体の地域コミュニティづくりとこれらを担う人材の発掘・育成に取り組んでまいりたいと考えております。	無
11	(3)	JRの遮断機の開閉する時間を改善するなど、人と車がスムーズに移動できる交通環境のよいまちづくりを進める。	JR遮断機の開閉時間の改善については、JR奈良線の高速化・複線化第二期事業により、踏切の遮断時間が更に増加することが懸念されますことから、踏切遮断時間短縮に向けて、京都府に対してJR西日本に強く要請するよう要望しておりますとともに、府道の踏切における渋滞対策と安全対策を要望しておりますので、引き続き、要望してまいりたいと考えております。また、本市といたしましても、宇治のまちの発展を継続させるために真に必要な都市基盤の整備を推進してまいりたいと考えております。  【(3)「まちの魅力を高める都市基盤の整備」～人・物の交流から活力ある宇治市を築く～ 具体的な施策 公共施設アセットマネジメントの導入・地域コミュニティの活性化】	無
12	(3)	<宇治川太閤堤跡歴史公園・交流ゾーン整備事業の内容> 過去の治水・護岸工事(堤防跡)の石積みが観光客誘致に寄与するとは考えられない。整備にあたっては、大型観光バスを含む相当規模の駐車場設置によるバスツアー客等の観光客誘致を最優先させ、観光情報発信事業、宇治茶活用事業、地域交流機能と併設すべきである。さらに、軽食喫茶店とみやげもの、地産品販売店を集約して、平等院や宇治川沿い等の観光遊歩のスタート・ゴール拠点化を図ってこそ、観光客誘致に大きな効果が期待できるものである。観光客から手軽に食事をする処がないとの評判や市政の交通渋滞緩和にも対処できると考える。	(仮)宇治川太閤堤跡歴史公園の整備については、新たな観光資源を創出するとともに、宇治茶や宇治の歴史情報をあわせて発信することで、周遊観光の促進を図りたいと考えております。具体的な整備内容については、いただいたご提案も踏まえながら、本市の発展に寄与するよう、検討してまいりたいと考えております。  【(3)「まちの魅力を高める都市基盤の整備」～人・物の交流から活力ある宇治市を築く～ 具体的な施策 まち巡りを仕掛ける基盤づくり】	無
13	(3)	<交通環境等充実事業> 京阪宇治バスの撤退の影響もあり、市内を走るJR・京阪・近鉄をつなぐ公共交通が不足している。市の活性化には市民の活動、市民の健康が必至であり市民の足の確保が重要であるため、宇治市として独自の交通システムを考えてほしい。	ご意見のとおり、市民の活動が本市の活性化につながることから、そのためには真に必要な都市基盤の整備は不可欠であると考えております。全市的な独自の交通システムについては難しいところですが、バス路線が廃止された地域においては、地域での交通手段確保のための取組支援として「のりあい交通事業」を実施しておりますので、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。  【(3)「まちの魅力を高める都市基盤の整備」～人・物の交流から活力ある宇治市を築く～ 具体的な施策 交通環境等充実事業】	無

No.	区分	意見	市の考え方	修正の有無
14	(3)	<地域コミュニティの活性化> 公民館・コミセンといった広域を対象とした施設とともに、自治会町内会単位や「ご近所福祉」、「レモンカフェ」のような形態の「寄り合い処」が、今後も増加が見込まれる「空き家」対策とも相まって、多様な形態・内容の地域ニーズに応じた『集会所』が必要である。	公共施設はコミュニティ活動の場として重要な役割を担うと考えております。時代に応じて求められる機能は変化しているため、時代に即した公共施設のあり方を検討してまいります。市民のご意見も十分に伺う必要がありますことから、ご意見を踏まえ、追記いたします。  【(3)『まちの魅力を高める都市基盤の整備』～人・物の交流から活力ある宇治市を築く～ 具体的な施策 公共施設アセットマネジメントの導入】	有
15	(4)	<黄檗・大久保両自衛隊の山間部への移転とその跡地活用> 各々、旧陸軍火薬製造所、旧飛行場の流れを受け継いで立地しているが、現在では市街地の中心部に広大な敷地を占めて存在しなければならない必要性は極めて乏しい。長期間に亘り難しい交渉になると思われるが、粘り強く折衝を繰り返して、その広大な敷地に産官学連携の研究開発企業を誘致すべきである。過去にコニチカ、日産車体、松下電産等の事業所の盛衰(雇用者数の増減)が人口の社会移動の大きな要因となっていたように市内での雇用の確保は喫緊の課題である。特に黄檗については京都大学キャンパスと隣接しており、交通アクセスの良好さと相まって立地条件は備わっており、開発費用も比較的少なく押さえられると思われる。	ご意見いただいた土地の活用は国との調整が必要であるため、容易には実現できないものと考えております。一方で、市内での雇用の確保は、ご意見のとおり人口の社会移動の大きな要因となっておりますことから、新たな産業の創出や企業の発展を支援するとともに、市内経済の構造を分析し、地域経済の好循環を促進してまいりたいと考えております。  【(4)『地域経済の活力づくり』～宇治市における安定した雇用に創出する～ 具体的な施策 産業活性化事業】	無
16	(4)	<地域経済の活力づくり> 世代を超えたワークシェアリングを進められないか。後期高齢者でも週2、3日などの就労ならば可能な人材は少なくない。高齢者が若い世代・女性の雇用機会を奪うのではなく、この情報化社会を、共に支え合い分かち合うことが可能な社会として、職業・雇用の範囲を拡大して考えることが可能な社会として考えられないか。	高齢者の雇用創出は、地域経済の活力と生きがい創出につながると考えられることから、シルバー人材センターを通じた雇用創出に引き続き取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご意見を踏まえ、追記いたします。  【(4)『地域経済の活力づくり』～宇治市における安定した雇用に創出する～ 具体的な施策 雇用促進事業】	有
17	(5)	他市町村住民や宇治市民に宇治市の学校教育方針を伝えるとともに、宇治市の子どもを育むためには、保育園や小学校、中学校、高校の専門的教育の育成と高等教育育成バランスなど、教育環境の充実が必要である。	市民には、教育だよりなどを通じて学校教育について情報発信をしております。ご意見のとおり、教育環境の充実が必要であると考えておりますので、宇治の未来を担う子どもを育むため、「宇治市教育振興基本計画」に掲げた教育理念である「家庭・学校・社会でささえる宇治のひとづくり・まちづくり」に基づき、地域や関係団体との連携を深め、教育力の向上を図るとともに、市内大学と連携した教育の実施や専門家による支援チームの設置など、学習環境の充実を図ってまいりたいと考えております。  【(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』～子どもが輝く未来の宇治市を築く～ 具体的な施策 学習環境等充実事業】	無
18	(5)	<新婚・子育て世帯への補助策> 分析のとおり、子育て世帯が住居を選定する要因としては、住居費負担が一番着目されると考える。京都市からの流入と城陽市、京田辺市への流出傾向が見られるのは、各地域間にみられる賃貸住宅の質や家賃水準の違い、マンション・戸建住宅の供給数や価格水準の違いが反映されていると思われる。若年生産年齢層人口の確保が重要であり、その世代の社会増加を実現させるため、家計支出の中で大きなウェイトを占める住居費に対して、住居費補助金を支給する施策が有効であると考えている。	子育て世代の確保のために、安心して出産・育児を行うことができるよう、結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援と地域で子育てを支える仕組みづくりに取り組むなど、環境整備を図ってまいりたいと考えております。そのなかで、ご意見いただいた子育て世帯への住居費補助金については、費用対効果も含めた施策効果を十分に検証するなど、慎重に検討してまいりたいと考えております。  【(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』～子どもが輝く未来の宇治市を築く～ 具体的な施策 子育て支援環境充実事業】	無
19	(5)	宇治市における出生率の実現のためには、国の長期ビジョンも必要だが、保育所や介護現場の慢性的な人手不足解消が必要である。待機児童の解消に向けて、保育所整備を進めても、人手が不足しては効果がないため、良い人材を確保するために賃金や職場環境を改善する必要がある。	ご意見のとおり、保育士不足は国においても課題となっており、賃金等職場環境の改善に向けて取り組むとされておりましたが、市独自の対応だけでは困難なことから、これらの動向を注視してまいります。福祉関連職の人材バンクの設置なども検討していく必要があると考えております。  【(5)『若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり』～子どもが輝く未来の宇治市を築く～ 具体的な施策 子育て支援環境充実事業】	無

No.	区分	意見	市の考え方	修正の有無
20	(5)	人口減少に歯止めをかけるためには、子育て支援環境の充実が重要であり、宇治市にもっと高校・大学を作るとともに、スポーツ・演芸・美術系などに力を入れるなど、他都市に負けない宇治の特色作りを目指す必要がある。	人口減少に歯止めをかけるために、宇治の特色作りは重要であると認識しております。新たに高校・大学を誘致することは難しいところですが、市内にある京都文教大学・短期大学や京都大学宇治キャンパスと連携協定を締結し、小中学生に対する宇治学の推進や理科系教育の底上げなどに取り組んでおり、引き続き、今ある大学や高校の協力を得ながら、他都市に負けない特色ある取組を検討してまいりたいと考えております。  【(5)「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」～子どもが輝く未来の宇治市を築く～ 具体的な施策 子育て支援環境充実事業】	無
21	(5)	高齢者アカデミーについて、学ばれたことが地域でどのように生かされているのか不明である。否定するわけではないが、多くの単位喜老会が世代間交流会を、或いは朝の登校見守りを通じて互いに笑顔と挨拶を交わしている。これらの地道な幅広い活動も宇治市の喜老会への支援によって裏づけされていることに感謝している。市の直営事業のみを取り上げるのではなく広く行政の成果の一つとして考えてほしい。	高齢者アカデミーについては、高齢者の生きがい創出と地域活動につなげることを目的に実施しておりますが、より地域活動につながる仕組みを検討する必要があると考えております。一方で、喜老会をはじめ各種団体が地域で見守り活動などに取り組んでいただくことで、地域での子育て環境等の充実に向けて大きな役割を担っていただいていることは認識しておりますので、ご意見を踏まえ、追記いたします。  【(5)「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」～子どもが輝く未来の宇治市を築く～ 地域等協働子育て環境充実事業】	有
22	(2) (3)	看板の大きさと色の検討や歩道の歩道専用化、ごみのない町など、景観に配慮した魅力あるまちづくりを進める。	宇治川を中心とした景観が重要文化的景観に選定されるなど、美しい景観は本市にとって魅力的な資源であると認識しています。この景観を保全・創造していくことは重要であるため、観光サインについて検討するとともに、ごみのない町については、これまでから取り組んでいる子どもへの環境啓発について引き続き取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご意見を踏まえ、追記いたします。  【(2)「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」～宇治への愛着から定住促進につなげる～ 具体的な施策 宇治への愛着醸成事業】 【(3)「まちの魅力を高める都市基盤の整備」～人・物の交流から活力ある宇治市を築く～ 具体的な施策 まち巡りを仕掛ける基盤づくり】	有
23	(2) (5)	市民が健康で暮らし続けるためには、子供が病気をした時の病院体制の情報や健康寿命を延ばす方法や高齢者に対する病院体制等の情報など、世代に応じた情報提供の充実が必要である。	子育てを担う世代が安心して出産・育児を行うことができるよう、子育てに関する相談や子育て施策の情報発信の充実を図るとともに、誰もが生き生きと暮らせる宇治づくりを推進し、健康長寿日本一に向けて、取り組んでまいりたいと考えております。  【(2)「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」～宇治への愛着から定住促進につなげる～ 具体的な施策 誰もが生き生きと暮らせる宇治づくり推進事業】 【(5)「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」～子どもが輝く未来の宇治市を築く～ 具体的な施策 子育て支援環境充実事業】	無
24	(2) (5)	<奨学金援助> 地元へUターン就職すると大学の奨学金の返還を減免する自治体があることが注目を浴びている。奨学金援助は若者の府外への流出を抑制するために、有効な手法だと考える。また、市内中小企業への就職や、地元で農業をする場合、京都の伝統工芸関係に従事した場合に 奨学金を免除すれば、中小企業の人手不足解消にもつながると考える。これらの取組は京都府と連携して取り組むことが必要であり、Uターンだけでなく、若い層の移住にも効果的であると考える。	ご意見のとおり、地元就職すれば奨学金を免除する自治体があることは認識しており、この取組により若者の流出抑制に一定の効果はあると考えておりますが、まずは子どもの宇治への愛着の醸成を図るとともに、子育て環境の充実など宇治の魅力を高めることで若者の流出抑制を目指したいと考えております。  【(2)「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」～宇治への愛着から定住促進につなげる～ 具体的な施策 宇治への愛着醸成事業】 【(5)「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」～子どもが輝く未来の宇治市を築く～ 具体的な施策 子育て支援環境充実事業】	無